

教室・講座・イベントの成果報告

主催者名	神奈川県環境科学センター		
題名・副題	ゴミ箱は宝箱		
月日・時間	2018年11月16日(金) 13:30~15:00		
開催場所	神奈川県環境科学センター1階講義室・控室		
部会・講師名	廃棄物部会・自然環境部会 石井 栄	参加者数	122名
		講師数	3名
写真			
	ゴミ（護美・五味）箱は宝箱！？ イメージ		ダンボールやチラシで作った手作り顕微鏡
			
	チラシで作ったアルソミトラの種の模型		
成果解説	<p>環境科学センターの施設見学として、秦野市立本町小学校5年生の校外学習が開催されました。全3授業のうち1授業を当会が担当し、私たちの生活で身近な廃棄物・ゴミのお話と、その再利用例を体験しました。</p> <p>ゴミとは何か、ゴミ再利用の具体例、膨大なゴミ処理費用、さらに最近話題のマイクロプラスチック問題については局所的ではなく全世界に波及し、様々な海洋生物のみならず最終的に私たち人間や動植物にまで悪影響を与えることを解説しました。授業の後は、ダンボールや広告チラシなど古紙を活用した実験を行いました。手作り顕微鏡での細胞の観察、アルソミトラの種模型の滑空とカエデの種模型の落下実験などを通して、資源の節約や利用法の例を体験しました。</p> <p>授業が30分と短い時間の中で盛り沢山の内容でしたが、児童たちは質問に元氣よくしかもの確に答えるなど日ごろ学校での教育が行き届いていることを実感しました。受講した子どもたちが、未来に向け豊かな創造力で、新しい資源節約法や再利用法を見つけ出して欲しいと期待しております。</p>		